

# 第四次産業革命時代における 知財の利活用に関する考察

2019年10月23日

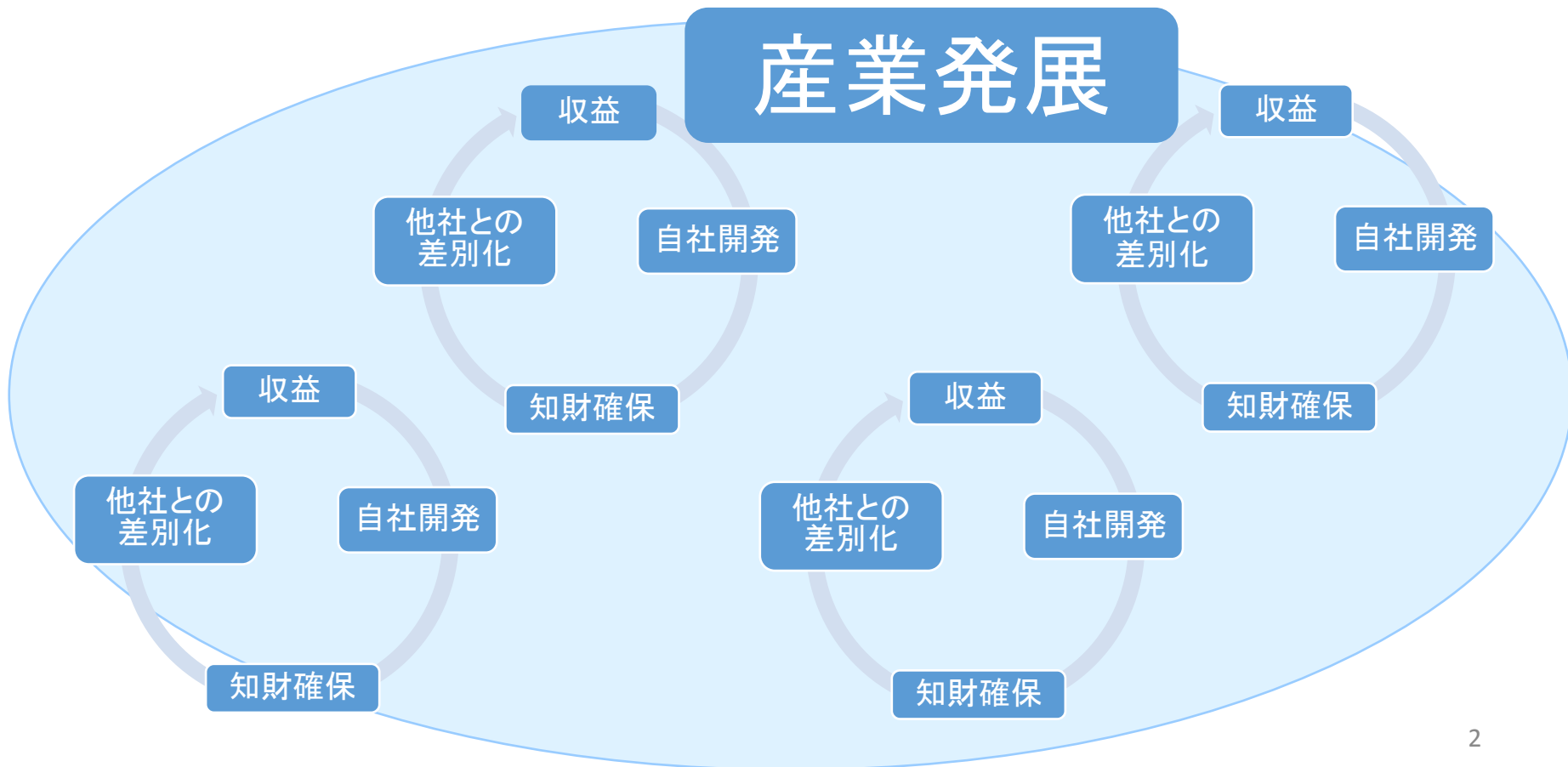
JIPA

第四次産業革命プロ

# 【特許制度】

発明公開、独占権付与 ⇒ 発明を奨励 ⇒ 産業発展

『自社独自開発製品』を知財権で守り、  
他社製品と差別化



## 【環境変化】

『自社独自開発製品』を知財権で守り、他社製品と差別化

IoT、AI、ビッグデータ

幅広い産業がICTに絡んでくる

イノベーションを起こすには様々な技術が交わる必要あり

社会課題（ex. SDGs）解決には様々なプレイヤーの協調必要

**1社独占という環境ではなく、如何にうまく協調して、  
新たな価値提供、社会課題解決を行ってゆくのが鍵**

## 【知財活用事例】

### 《パテントプール》

# 戦時中の重要技術普及策

1917～

重要技術については特許プール

飛行機特許プール←第一次世界大戦には飛行機が必須

加盟料1000ドル、特許料200ドル

1919～

RCA (Radio Corp. of America)

無線特許をすべて集めた特許管理会社 マルコーニ社、GE、AT&T、WHが参加

↑無線技術は海軍にとって重要。国家安全保障

その後、1926ラジオ放送(NBC)→TV開発に進んでゆく

# 【知財活用事例】

## 《パテントプール》

### 光系ディスク

対象技術	DVD	BD
標準化団体	DVDフォーラム	BDアソシエーション
対象製品	ディスク、プレーヤー、デコーダー	
プール	3C (4社) 6C (8社)	One-Blue (19社) Premier-BD (7社)
ライセンシー	156社(6C)	66+社 (One-Blue) 42+社 (PremierBD)

### 動画コーデック

対象技術	MPEG-2	MPEG-4(Visual/AVC)
標準化団体	ISO/IEC、ITU-T	
対象製品	TV、レコーダー、PC、 カメラ他	携帯電話、カメラ、TV、PC他
プール	MPEG-LA (27社)	MPEG-LA (38社)
ライセンシー	942社	1427社

# 【知財活用事例】

## 《パテントプール》

### デジタル放送

対象技術	2K（デジタル放送）	4K/ 8K（衛星放送）
標準化団体	電波産業会（ARIB）	ARIB、放送サービス高度化推進協会
対象製品	デジタル・衛星放送を受信できる機器	
プール	アルダージ（20社）	アルダージ（17社）
ライセンシー	機器：149社 サービス：129社（地デジ）	機器：74社 サービス：非公開

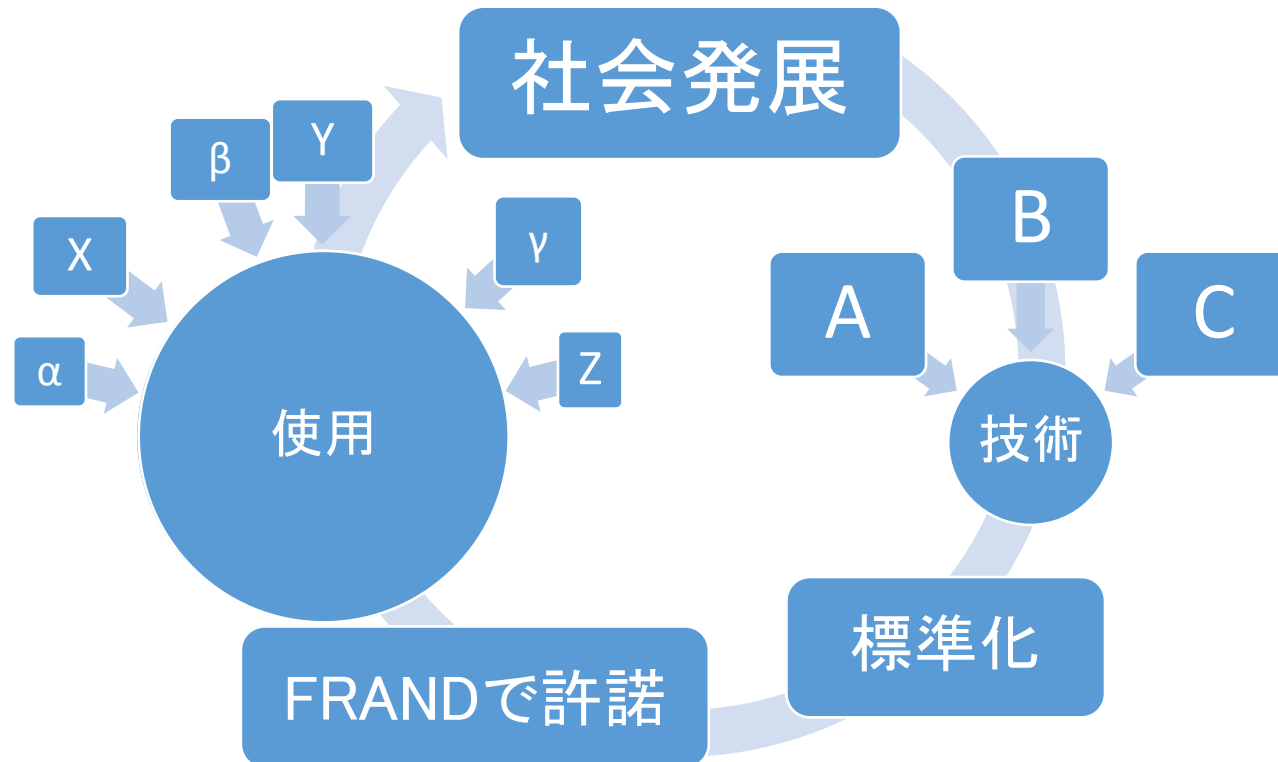
### 無線通信

対象技術	W-CDMA(3G)	LTE(4G)
標準化団体	3GPP、ITU-R	
対象製品	携帯電話、タブレット、ラップトップ他	
プール	Via Licensing（14社） Sisvel	Sisvel（32社） Via Licensing（20社） MPEG LA
ライセンシー	非公開	非公開

## 【標準と特許、パテントプール】

広く使われることを前提。皆で協力して技術開発。  
⇒ 技術が広く使われることで社会がより良くなる。

『FRAND』で広く特許を許諾し、技術を普及  
多くの特許を集約したパテントプールがベスト



## 《パテントプール課題》

- 特許の集積度  
権利者のインセンティブ
- 条件の柔軟性
- 対象製品の柔軟性
- アウトサイダーによる権利行使
- プレーヤーの階層が増加すると機能しにくい？
- モノ→ソフト→ソリューション/サービスと  
変化する中での対価は？  
単なる資金回収のツールでいいか？



# 【その他の知財活用事例】 協調/協力/仲間づくり

	RPX	AST	Unified Patents
概要	特許を買取り、会員にライセンス 購入特許はRPXが決定	会員のために特許購入 購入特許は会員が決定	NPE特許に対してIPRをかける ターゲット特許はUPが決定
会費	過去3年の売上高に応じる	年間売上高に応じる (\$100K~\$200K/年)	年間売上高に応じる (\$50K~\$490K/年)
会員数	320+社	30+	200+社

	LOT Network	Azure IP Advantage	OIN
概要	会員の特許がトロールに売られた場合、他の会員はこの特許の使用権を取得	Microsoftの「Azure」クラウドサービスを利用する顧客が提訴された場合、MSの1万件の特許から1件選んで反訴できる。	OINに認定されたOSSは会員企業の特許フリー。 会員を守るための特許も購入
会費	年間売上高に応じる (Free~\$20K/年)	「Azure」を\$1000/月以上 上(3か月)利用	無料 プラチナメンバーは\$20M
会員数	438社		3000+社

# 【第四次産業革命時代における知財利活用】

## 《キーワード》

- ✓ 協調
- ✓ 多様なプレイヤー
- ✓ 広く普及（社会課題解決）
- ✓ 「知財」の広がり（データ/AI）

# 【第四次産業革命時代における知財利活用】

## 《目指す姿》

協創した仕組み(技術/サービス)を、広く協調して、安心して利用できるようにし、社会課題を解決

## “Collaborative IP Use” “IP Ecosystem”

- ▶ 広く利活用を大前提に、社会への貢献度に応じた「利用料」
- ▶ 協創コミュニティへの貢献度に応じた「利用料」の分配
- ▶ 知的財産権のみならず、データ/AIも
- ▶ アウトサイダー対策（利用者を守る）で、特許購入や攻撃も

課題：

「利用料（≠特許料）」の算出法、分配方法、独禁法、データ/AIの利活用法

ご清聴ありがとうございました